

地域づくり協議会だより

◎ 原稿募集中

広報部会

発行日：令和2年11月1日 発行者：大和町連区地域づくり協議会
一宮市末広三丁目6番1号(大和町出張所内) 電話：28-9006

創立20周年「一宮平成ホタルの会」

「自然環境功労者環境大臣表彰」受賞

— 5年程前より「ヘイケボタル自然発生」 —

一宮平成ホタルの会 広報班長 手嶋 雅春

「ヘイケボタル」も生息できる環境を見直そうと「ホタルが舞う姿をもう一度 私たちの まちに 子供たちに」を合言葉に、平成12年1月「一宮平成ホタルの会」(会長 伊藤 勝英)が誕生、今年、20周年となります。

大野極楽寺公園内(野鳥園)で「ヘイケボタル」幼虫400匹余りで飼育活動をスタート。3年目3万7千匹、以降着実に取り組むも、近年は飼育幼虫数の減少大とヘイケボタル飼育の難しさを痛感しています。一方、5年程前より毎年、野鳥園内のホタル川で念願の「ヘイケボタル自然発生」を確認、苦節15年目やっと努力が結実しました。

新型コロナウイルス禍、年初より企画の20周年記念事業を含め全ての活動を休止していましたが、4月中旬「みどりの日



大臣表彰受賞報告

【親子観察会】

(令和2年6月13日)



自然環境功労者環境大臣表彰」受賞のホットニュース。祝20周年記念となり会員一同「これまでの活動が認められ、これからの励みになる」と大感激しています。最後に、「ホタルや環境」等に興味・関心をお持ちの皆さん!是非、「一宮平成ホタルの会」に参加して一緒に活動してみませんか、お待ちしております。

問い合わせ先：一宮平成ホタルの会事務局(一宮市公園緑地課内)

0586-28-8636

『あいさつの日』運動を広げよう!

『子育て応援団』

大和町連区8校小中学校長と

民生児童委員の懇談会

大和町連区児童育成協議会 会長 内田 清

- あ あかいい笑顔で 元気よく
- い いつでも どこでも だれとでも
- さ さわやかあいさつ こだまする
- つ つながる心 深まる絆 みんなにっこり



大和町連区では、『あいさつの日』運動を5年前から実施しています。「家庭の日」(毎月第3日曜日)の翌日、月曜日の朝。家庭・学校・地域が一つになり、道行く人々に声かけをして、さわやかで活気あふれる大和町を目指しています。

コロナ感染症防止で、「新しい生活様式」を取り入れた日常生活にあっても、私達の基本的な生活習慣であるあいさつの大切さに変わりはありません。「おはよう」から「おやすみ」まで様々な場面での心のこもった声かけは、皆の心を開き、温かく、明るくします。

皆様のご協力によりあいさつの輪が大きく広がりますようお願いいたします。



小中学校と単位民児協との定期的な懇談会は、子ども達の様子を共有し、課題を抱える家庭に対してお互いがどのように支援していくか話し合いをする場にも

なります。今年、8月13日(木)、大和公民館で大和町連区内の8名の学校長と大和民児協の民生児童委員の懇談会が開催されました。

はじめに、柴田賢治・岩田武志両学校長より、新型コロナウイルス感染症は、子ども達の生活や学校生活に大きな影響を与えていると報告されました。学校は、3か月の休校に伴う子どもの学習・生活への不安を解消する取り組み、保護者や地域の方との交流自粛を図りながら楽しく活動ができる教育環境の構築、部活動の中止に伴う生徒への対応、音楽をはじめとする学習活動の工夫、登校時の検温による子どもの体調確認、手指消毒の励行指導、飛沫感染防止に留意する給食指導、授業後の机上除菌活動等々、使命感溢れる教職員とボランティアさんの応援活動の支えでコロナ禍の教育活動に取り組まれました。

その後、3中学校区に分かれ、有用な話し合いが重ねられました。最後に、太田一弘会長のお礼のあいさつに続き、子ども達のために手指消毒液を皆さんに持ち帰っていただきました。



祝 長寿

大和町連区敬老会お祝い品

今年、新型コロナウイルス感染防止のため、従来の式典及びアトラクションなどは中止になり、お祝い品のみとなりました。連区内在住の75歳以上のご高齢の方全員にQUOカードが届けられました。お受け取り下さい。皆様のご長寿を心よりお祝い申し上げます。



【地域づくり協議会役員のカード発送準備】

シリーズ⑤大和町連区自主防災会

大和町連区自主防災会 代表 太田 一弘

住民の方々が協力し合い第一避難場所へ到着したら、町内役員・組長・班長または、マンションの棟長さんの安全確認を受けます。そこでチェック出来ない方々も救援に向かい一人でも多くの住民を救出し、一段落ついたら家に戻ることが可能かどうかの確認に戻ります。電気ガス水道が使えなくとも安全が確認されていれば、在宅避難を班長さんに伝えて帰宅します。テントや車などを利用する方は、班長さんに報告し避難生活をスタートします。家が半壊や全壊の人は指定避難所へ行って受付をして避難します。避難所生活は、狭い、暑い、寒い、騒がしい、床が冷える・堅い等々、色々不満は、出ましようが皆で協力しましょう。



【自主防災会リーダー研修会,8月22日】

新型コロナウイルス感染対策の避難所運営は誰が？

今回「あいち防災リーダーいちのみや支部」の伊藤善之さんに、『なぜ今、自主防災組織が必要か』でお話を聞きました。避難生活のために「指定避難所や補助避難所」に行った時、「避難所運営組織」がないと、どんな問題が起きるのでしょうか？通路がないので食事や荷物の運搬ができない…。さらに新型コロナウイルス感染に対応した生活が望めない等々。連区33町内の連絡調整がとても重要になってきます。

特集 子ども会

⑤ <昨年度の活動>

子ども会とは、同じ地域に住む子どもを中心とする異年齢集団で、レク、スポーツ、文化、社会奉仕などの活動を通して、学校や家庭では体験できない仲間づくりをすすめ、子どもの社会性や自主性を育む団体のことです。子どもの育ちの大切な場となっている子ども会を紹介しています。

妙興寺南子ども会 140名(男子76, 女子64)

- ・ドッチビー大会・夏の盆踊り・クリスマス会
- ・ボーリング大会など

大和町連区の中でも子ども数が一番多い子ども会140人もの学年の違う男女が集まるとまとまるのもまとまらないのが現実。しかし、違うからこそいろいろな刺激や発見があり子どもの多彩な表情や、感受性を感じられる子ども会です。

ドッチビー大会

宮地1丁目子ども会 34名(男子24, 女子10)

- 4月新入生歓迎会,7月映画鑑賞会,10月秋祭り
- 12月クリスマス会,3月お別れ会ボーリング大会

男の子が多い所ですが、みんな仲良く、困っている時は助け合える心優しい子たちばかりです。体を動かすことが大好きなので公園に集まって元気にドッチビーやサッカーをして毎日を充実させてます。



ドッチビー大会



子ども獅子



新入生歓迎会

北高井子ども会 22名(男子13, 女子9)

- ・歓迎会・福祉大会・スポーツ大会・七夕祭り・子ども獅子
- ・連区運動会・ごみゼロ運動・クリスマス会・お別れ会
- ・資源回収・総会

今年度のスポーツ大会は、練習にたくさんのお父さんが参加してくださったお陰で決勝トーナメントに残ることができました。成績は残せませんでした。代わりに”すこやか賞”をいただくことが出来ました。イエイ！！

毛受西子ども会 30名(男子12, 女子18)

6年生を中心に活動しています。特にスポーツ大会には力を入れていて、子どもたちが自主性を持って意見を出し合い、低学年へのアドバイスもできるように指導者の方で助言し活動しました。

- ・新入生歓迎会
- ・児童福祉大会
- ・スポーツ大会
- ・ボーリング大会
- ・連区運動会
- ・クリスマス会
- ・お別れ会



スポーツ大会



子ども獅子



スポーツ大会